



長野県民生児童委員だより

つなぐ

特集

新人トーク 座談会

新任委員4人に聞く

女性の力で地域を支える

Vol.119
2014
Winter

平成27年1月1日

発行人 長野県民生委員児童委員協議会連合会
会長 伊藤 篤志

編集人 編集委員会
委員長 熊井 文弘
〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号
(長野県社会福祉協議会内)

Contents

- ◆新年のごあいさつ
長野県知事 阿部守一氏
長野県民生委員児童委員協議会連合会会長 伊藤篤志 2
- ◆特集 新人トーク座談会
「女性の力で地域を支える」 3~4
- ◆全国主任児童委員研修会 5
- ◆民児協訪問
塩尻市吉田地区民生児童委員協議会 6
御代田町民生児童委員協議会 7
- ◆表彰者紹介 8

新年のごあいさつ



長野県知事
阿部 守一

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日ごろから県政運営に御支援御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、地域社会の抱える生活課題が複雑・多様化する中で、日々、住民の身近な相談相手として、高齢者や障害のある方、こどもたちへの見守りなど、地域福祉の中心的役割を担っていただいていることに対しまして、深く感謝を申し上げます。



民生委員協議会
会長
伊藤 篤志

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。一昨年の一斉改選により、会長をお引受いたしましたので早いもので一年を経過いたしました。

11月22日午後10時8分、長野県北部地震が発生し、白馬村、小谷村、小川村で震度6弱を記録、白馬村を中心に全壊34棟、負傷者41人となりましたが死者は一人も出ませんでした。この事

平成25年12月の民生委員一斉改選から1年が経過し、新たに委嘱された方も、再任された方も、一致団結し民生委員・児童委員活動に励まれていることと存じます。

昨年は、記録的な大雪に続き、土砂災害、御嶽山噴火、神城断層地震など自然災害が多発いたしました。

これらの災害でお亡くなりになられた方々と御遺族に対し、改めて哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心より御見舞い申し上げます。

さて、今日、地域での見守り体制の強化、災害時の援助を必要とする住民の安否確認等が課題となっており、民生委員・児童委員の活動にも期待が寄せられております。このため県では、行政、社会福祉協議会、民生委員の皆様との連携や協働により「災害時住民支え合いマップ作り」に取り組むなど、

は何度も報道されましたが、村の皆さん方が日頃の訓練通りに行動をおこされ、助け合いの精神のもとでお互いに声をかけ合い、助け合った結果のたまものでした。全民児連の堀江会長様始め多くの皆様からお見舞いをいただきましたこと心から御礼申し上げます。

また、昨秋には木曾の御嶽山が大噴火し、自然の災害の恐ろしさを見せつけられました。

さて、今日、多様な生活課題を抱え、支援を必要とする人びとが増加しています。経済的困窮や社会的孤立の状態にある人びとへの支援、高齢者、障がい者、児童等への虐待や消費者被害の防止、子どもたちを狙った犯罪被害、自然災害への要援護者の支援体制づくりも急がれています。

安心で安全な地域づくりを進めています。

他方、近年では、特殊詐欺被害が増加しており、被害防止に向け、県と県警で昨年5月に「特殊詐欺非常事態宣言」を発令いたしました。今後、地域住民の見守りや啓発の取り組みを強化し、県民生活の安全・安心を確保するため、日ごろ援助を必要とする世帯へ訪問活動をされている民生委員・児童委員の皆様方との連携により取り組んでまいりますので、御理解と御協力を御願い申し上げます。

結びに、今後とも、民生委員・児童委員の皆様方と連携・協力し、地域福祉の増進に努めてまいりたいと存じますので、重ねての御協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の更なる御健勝と御多幸を心より祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

本年は生活困窮者自立支援制度、子ども子育ての支援制度の施行、また介護保険制度の改正が実施されます。常に住民の立場にたって活動する民生委員児童委員への寄せられる期待は大きなものとなっております。

また、関東ブロックの民生委員児童委員大会が長野県の当番県にあたり、本年6月25日(木)～26日(金)に軽井沢のプリンスホテルにて開催が予定されています。

開催地の軽井沢町の皆さん始め、各委員の皆様の大なる御協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり委員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げて新年のごあいさつといたします。

女性の力で地域を支える

民生児童委員の新人4人に聞く

県内の民生児童委員5176人中、2798人が新人で、全体の約3000人が女性です。男性と女性が6対4の割合となっており、以前と比べ女性の委員が増えています。そこで女性の新人委員4名で座談会を開催し、編集長と率直に意見交換をした様子を要約して紹介します。



※2014年11月11日 県民児連事務局で

- 編集長 熊井 文弘さん (長野市浅川地区)
- 山崎美代子さん 須坂市 (北旭ヶ丘町)
- 有賀喜美子さん 安曇野市穂高
- 池田 弘子さん 上田市 (丸子第2地区)
- 有賀 民子さん 上伊那郡南箕輪村

委員の仕事の多さに驚き、情報集めにも苦労が。

編集長 民生児童委員を引き受けたいきっかけは、

有賀(民) 結婚相談員をやり、遺族会の役員が終わり解放されると思っていたとき、区長から頼まれて断りきれませんでした。

池田 長年勤めた職場を退職しゆっくりしたいと考えていた矢先に頼まれました。これから地域の役に立てればと引き受けました。

有賀(喜) 区長に引き受け手がいないから頼むと言われて、推薦期限の前日に受けました。以前親がお世話になったこともあり引き受けました。

山崎 主人が区長をしていたからです(笑)。以前から自治会の事務局をするなど区長のお手伝いをしていたり、生涯学習推進委員をしたりなどしていました。お年寄りと接するのが好きです、

介護経験がありますから、力になれるのではと思っただけです。

編集長 就任前に思っていたことと実際の違いは。

山崎 お年寄りの見守りや、困っている人の手助けなのかなと考えていました。現実にはいろんな問題があるんですね。地域包括センターや警察などにつなげるなどするにしても、自分がどこまでやればいいのか。

有賀(喜) 実際になつてみると当事者の情報も入ってこないし、自分たちはまずどう動けばいいのかかわからなかったですね。先輩たちは心底、ボランティア精神を発揮してやっていらつしやる感じしています。当事者の事情に入っていける力もないし、一人ではそこまでできないというのが正直な感想です。

池田 仕事で行政に関わっていたので知っていたつもりでした。実際は、定例会だけでなく子育てから高齢者福祉まで、活動が多くなりまして。

有賀(民) 今、私の担当地区は一人暮らしのお年寄り3人だけで、高齢者のみで健康の面で心配なのは2家族だけです。ですが、会合や研修や、保育園・小中学校訪問、そしてこの座談会も(笑)。いろいろあるのでびっくりにしています。

編集長 引継ぎはありましたか。

山崎 最初の説明は結局わからないで聞いていたかと思えます。私の担当地区は140世帯中で高齢者世帯が24世帯、その他一人暮らしの高

齢者は38人です。活動記録を書くことも知りませんでした。

山崎 高齢者世帯のご主人が脳梗塞で動けないと聞いていたのにリハビリでよくなって、車を運転してしまい事故を起こしました。日々変わる状況の中で一人一人の記録が大事だと思います。

有賀(喜) 前任者が都合によりやめられ、地区全体をもつ一人の委員がカバーしていた後に、私が引き継いだので、その委員になんでも聞いて安心です。

池田 書類の一式を受け取って「行政にいたから大丈夫」と言われました(笑)。どう情報を集めたいのか正直悩んでいます。

有賀(民) 一人暮らしの台帳と状況、給食サービスなどの説明がありました。福祉台帳もあるのでやりやすいですね。

編集長 長野市でいう全世帯の調査票のような基礎資料「福祉台帳」がないと大変だと思います。中には要介護度や家族の障がいなどを備考欄に書く人もいますので大変参考になります。行政に呼びかけていきたいですね。

有賀(喜) 民生児童委員が保管するのですか。

編集長 はい。守秘義務について理解してもらい、区長や敬老会などにも出しません。個人情報のカイドラインをぜひご覧ください。

有賀(喜) 別荘地に永住する人も増えています。米寿のお祝い品を届ける時に10人中7人は常会に入っていないませんでした。福祉台帳があるといいですね。(次ページに続く)



▲池田さん(左)と有賀民子さん(右)

山崎 私の地区では民生児童委員が中心になり立ち上げた、ボランティア組織「友愛会」が食事を企画していて、情報が自然に入ってきます。おまつりや運動会など自治会事業の協力を率先してやっている「青壮年会」もあります。

編集長 情報が集まらないということは、対象者がかわりそうですかね。

**独居者宅の訪問や
緊急時の対応に苦慮**

編集長 疑問など自由に出してください。

有賀(喜) 男性の独居の方の訪問の際、入れといわれて断ったら失礼かと迷ったことがあります。

有賀(喜) 新任研修会の時に「玄関には自分から入らない」という文言を聞かされていました。

有賀(民) 月2回弁当を届ける機会があります。寄せと言われましたが玄関で話をしてみました。

池田 逆に「来なくてもいいよ」と言われることがあります。相手と信頼関係をどう作るのが難しいですね。

有賀(民) 初めて新任の挨拶に行く時は緊張しました。「前任者が同行してくれた」という人の話も聞きましたので、後任者には私も一緒に行ってあげたいと思います。

有賀(喜) 私も、一緒に前任者が2日間かけて訪問してくれました。「今度は女性の委員でよかったね」と言ってもらえました。

編集長 困ったことはありませんか

有賀(喜) 困ったとき車に乗せるのはどうですか。緊急の時や、病院に行く足がなるときはダメですか。

編集長 基本的には病院に連れて行くなどの送迎はいけません。緊急時は、救急車やタクシーを呼んでください。逆にやりがいを感じたことはありませんか。

山崎 骨折で入院された時に、様子を見に病院へ行きましたら、感謝されてよかったですね。

有賀(喜) ケアマネさんから、お年寄りの最近の様子について相談されたとき、関係ができてよかったなと思いました。

池田 困ったことがあるとき、電話していただく、自分が信頼されてきているなと思って嬉しくなります。

有賀(民) 南箕輪村は、老人福祉が充実しているので、みなさん移住してへるそうです。地域に携わってみて改めて、いい村だなあと思います。

**女性が良さを生かし、
活動しやすい態勢を**

編集長 女性だからできたことは。

山崎 「女性だから相談できていいよ」と言われます。男性にはなかなか言えないことがあると言われました。

有賀(民) 女性の方が、より話しやすいかもしれません。

編集長 単位民事協284の内、女性の会長は53人で、18%で少ないのではないのでしょうか。長野市は会長37人中10人、1/3弱は女性です。

山崎 男性は会長職に専念できますが、女性は家族の面倒や家事もある場合が多いので難しいのかもしれないですね。

編集長 女性の委員からの要望で夕食の準備に影響があるため、定例会の始まりを午後3時から2時に変え、早く終わるようになっています。

山崎 私の地域も2時になりましたが、もう少し早くてもいいと思います。

有賀(民) 主婦にとっては1時半がベストだと思います。

山崎 会合終了後の懇親会や泊まりの研修会は個人的にはいいですね。

有賀(喜) 介護が始まり仕事もついています。夜の飲み会や泊まりはどうしようかなというのには正直あります。

池田 懇親会は必要だと思えます。本音で、話しあえる場かなと思っています。

編集長 部屋が一緒になると具体的なケースを互いに話し、一生懸命考え本音で話せる雰囲気ができます。

山崎 私たちの地域は一ヶ月に一度の定例会で本音を言ったりしています。

有賀(喜) 男性は飲まないで難しいのかもしれませんが。研修を4月すべに行きましたが、他の委員と仲良くなれました。一晩泊まってしゃべるといいと思います。

編集長 自身の経験や趣味が役立っていることはあります。

有賀(民) 一人暮らしの人に趣味で絵手紙を時々出しています。認知症予防の為に月2回マージャンもやります。集まっておしゃべりするだけでもいいですよ。

山崎 ボランティアで、中国から来たお嫁さんたちのサポートをしています。初めての人も平気で話ができ、聞き役になることかなと思います。

編集長 抱負を最後にお願います。

有賀(民) 自分自身が元気で居て要請に答えられるように準備をしていきたいです。

池田 高齢者のお役に立てるよう頑張りたいです。

有賀(喜) 自らネットワークを作らなければと気づき、積極的に地域の行事に出たいです。

山崎 地域のためになれればいいなという思いで、頑張りたいと思います。

編集長 今日はありがとうございました。



▲山崎さん(左)と有賀喜美子さん(右)

全国主任児童委員研修会(東日本)に参加して



全国主任児童委員研修会が、8月27・28日にグランドホテル浜松において開催され、東日本33都道府県市からく340名が参加しました。紙面の都合で、1日目の研修報告を中心に掲載します。

長野県飯田市主任児童委員会
会長 清水 正則



ごともやその家族に寄り添う活動を

開催挨拶の中で、全国民児連副会長長加納多恵子氏が、主任制度は20年の節目を迎えました。子どもに関する課題は重く、年々多様化してきていると話されました。

行政説明では、厚労省児童環境づくり専門官の三浦宰氏が「児童福祉の動向と児童委員活動」と題して、児童委員・主任児童委員に期待するものとして3つ挙げられました。

- ① 学校等と家庭の間にある地域社会の見守り役
- ② 関係機関や専門職への橋渡し役
- ③ 子どもを大切に地域社会の実現・学校と意図的な関係づくりを進める。

講義では、明治学院大学教授松原康雄氏が「子ども・子育て家庭をめぐる課題と主任児童委員の活動」と題して、少子化・子どもの貧困・子ども、子育て家庭を支える地域社会の変化・子どもの虐待等について話されました。この中で少子化の影響として、けんかや競い合い、協力、地域における豊かな仲間関係の形成といった対人関係の基本を十分に経験できなくさせている。このことがいじめなどの背景にあると指摘しています。また、親になった時、幼い子どもと触れ合った経験が浅いため、赤ちゃんへの戸惑いを感じたりすることが、育児不安の背景の一つとなっていると話されました。

更に、子どもの声を聴く1例として、アンジェラ・アキさんの「手紙〜拝啓15の君へ」の曲が紹介されました。歌詞の内容に触れ、誰にも話せない悩みの種を多くの子どもが持っている中で、主任児童委員は、その悩みの解決の手助けできる存在になってほしいと強調されました。そして、主任児童委員の活動の重点目標を3つ挙げて説明されました。

- ① 子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込みの防止に努める。
- ② 地域の子どもの見守り活動を進めるとともに、子どもたちにとって身近な「おとな」となる。
- ③ 児童虐待の早期発見・早期対応のため、幅広い関係者の連携・協働の推進。

ひとり親家庭支援はつながりから

休憩後、シンポジウムが「ひとり親家庭の支援について考える」のテーマで2時間行われました。児童委員や主任児童委員は、経済的困窮者や社会的孤立に陥りやすいひとり親家庭への支援に対して、相談活動を通じて必要なサービスにつなげたり、居場所づくり等への協力等が期待されているというねらいを、まず確認しました。そして、ひとり親家庭に対する支援活動を行っている関係者をシンポジストとして迎え、主任児童委員及び民児協としてのひとり親家庭への関わり方、支援の在り方について学ぶとともに、今後の具体的な活動の方向性について討論しました。

その後の交流会では、8人の都道府県市の方々とテーブルを囲み、日頃の活動内容や定例会の中での主任児童委員として、どのような関わりをしているかなど、多くの情報交換ができました。

※2日目は、分散会「子育てを応援し、子どもの健やかな育ちを支える地域づくりについて考える」地域住民の参画と主任児童委員の役割」が行われました。

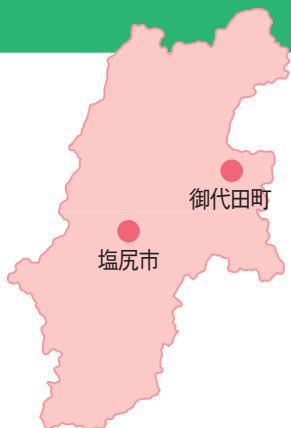
私が研修で率直に感じたこと

長野県のある市では、世帯台帳や子どもがいる世帯台帳等を配布してくれていて、活動しやすい環境づくりができていてありがたいと思いました。

福祉委員も兼ねている地域が多数あり、児童委員の仕事が多岐にわたります。多忙となりがちであると感じました。
何年主任児童委員をやっているにもかかわらず、常に学んでいかなければいけないことを痛感しました。



訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

民児協
だより



塩尻市吉田地区民生児童委員協議会



▲吉田地区3区の子供とのふれあい交流会の様子。

活動記録の勉強会、定例会の議事録作成で、よりスムーズに活動し易く。

吉田地区は塩尻市北部に位置、長野自動車道塩尻北インターチェンジがあり、交通の便利な地区です。かつては養蚕と水田地帯でした。昭和40年代からエプソンをはじめ企業が進出し、ベッドタウンとして新興住宅地が造成され人口が増えました。現在、約3950世帯、人口9200人、地域にある吉田小学校には児童約600人、それを民生児童委員が18人、主任児童委員が2人で支えています。現在の高齢化率は28%ほど。会長の依田宗夫さんによると「住宅

街も時代を経て世代がかわり、建物の老朽化や、高齢者のみの住宅、空き家が目立つようになってきた」と言います。

塩尻市では民生児童委員は福祉委員も兼ねており、市社協とも連携が取れやすい環境になっています。民間業者6社が在宅介護支援センターを代行し、民生児童委員とケアマネジャー、包括支援センターが年1回「ミニケア会議」を行い、連携して介護支援認定者を把握し支える態勢をとっています。

吉田地区では、月1回のいきいきサロンに協力するほか、70歳以上のお年寄りや園児との交流会を5つの区全て年1回行っています。園児から手作りのプレゼントがあるなど参加者からは好評を得ています。またラジオ体操への協力や小学生の登下校時の見守り活動も行っています。

副会長の森口益吉さんによると、「吉田地区では、依田会長の提案で独自に判断基準を設けて活動記録の勉強会を企画し、記録しやすくした。おかげで活動件数も増えた」と言います。今定期に入り、正副会長が連携して定例会の議事録も作成し委員に



▲前列真ん中左が依田会長、右が森口副会長

配布することで、話し合ったことや活動事例を後で確認できるようにしたことも大きな変化だと言えます。

また定例会では順番で委員が好きな話題を提供する機会を作っています。記者が訪問した日の定例会でも、庭師の委員が、玄関の松について、その歴史といわれを話しました。「松は長生きの象徴。80代の高齢者の人たちが家を建てた時代にはこだわりがあった。訪問する時は、ちよつと足を止めて松を眺めてみてください」と締め、委員から拍手が起こっていました。活動が認められ第83回全国民生委員児童委員大会で優良民児協として表彰されました。

御代田町民生児童委員協議会



▲総勢33名の委員の皆さんの活動は全国大会で表彰された。

高齢者に加えて、子ども重視の方針を立て、より地域に密着した活動を。

浅間山に抱かれるように広がる御代田町の人口は約1万5千人。

昭和31年に3つの村が合併して誕生以来、人口が1・8倍、世帯数が3・6倍と激増し、県下トップクラスの出生率と移入人口の大きさで、今も人口の増えている町です。一方の高齢化率は約25%と、下から2番目。外国籍住民が多いこと、限界集落を自認する地区から若い子育て世代の多い地区、移住者や別荘地が多い地区から鎌

る特徴もあります。

会長として2期目を迎えた内堀隆久さんは「17ある地区の事情がそれぞれまったく違うので、何をするかは委員が判断するのが一番」と自主性を尊重しながらも、全体的には「高齢者に加えて、子ども重視」の方針を打ち出しています。現職講師が主任児童委員になり、また副会長も主任児童委員が務めるなど、方針にそった委員構成。この委員が、中学校に毎月出向いて先生方と打ち合わせをし、支援が必要な家庭があると訪問や見守りをしながら、児童相談所とのつなぎ、児童養護施設との連携も密にしています。

子ども重視にしたのは、小学生の増加もありますが、特に外国籍の子どもたちの問題が目立ったからでした。文化の違い、言葉の壁から「場合によっては、つきっきりみたいになることも」という活動の甲斐があり、安定してきましたが「高齢者の居場所が複数あるのに子どもにはない」という現状を内堀さんは案じています。

町社協が11月にオープンし



▲通学路での見守り活動の様子

た高齢者から子どもまで、縦割りにならずに集える場所。地域の縁側あさひは、地域住民が支え合うつながりがづくりを目的にしているのだ、地域の民生児童委員が協力しています。仲間の家に遊びに行くように気軽に利用でき、ゆっくりくつろぐのも、料理をしてみんなで食事を楽しむのも自由で、介護、子育て、認知症などグループごとの活動もできるようになっています。「ここから色々なつながりが生まれてくれれば」と内堀さんは期待しています。

多彩な活動が評価され、このほど和歌山市で開催された第83回全国民生委員児童委員大会で、表彰を受けました。



表紙写真紹介

上田市武石のダム湖周辺

撮影

豊殿地区民生委員児童委員協議会

矢沢地区担当 樋村 守彦さん

1月18日、雪の風景を撮りたくて、上田市武石のダム湖に行きました。雪で駐車場に車が入れなく、40cm位の雪の中を歩いてダムに上り、ダム湖を撮影していましたが振り返ってダムの下流を見たところ川と木と雪のコントラストがすばらしかったので撮影した1枚です。ダム湖は、四季を通じ風景が良くて、よく撮影に行く場所です。

profile

民生児童委員1年目です。写真が好きで、風景、花、昆虫、露、霜模様等を被写体に撮って自己満足にふけています。仲間と、撮影旅行に出かけたり親交を図っています。ただ、民生児童委員になり、写真を撮る機会が減ってしまい寂しい思いです。



長野県民生委員児童委員協議会連合会会長表彰

平成26年9月10日(水) 長野県社会福祉大会において表彰

○優良単位民生児童委員協議会表彰

・小諸市東南部地区民生児童委員協議会 ・須坂市東部地区民生児童委員協議会 ・池田町民生児童委員協議会

長野県社会福祉協議会会長表彰

平成26年9月10日(水) 長野県社会福祉大会において表彰

○民生・児童委員功勞表彰

御代田町	堀篁	幸子	松本市	伊藤	吏	伊那市	城倉	直彦	長野市	戸谷	敏人
立科町	平坂	光明	松本市	中野	京子	中野市	工藤	二六子	長野市	田中	のぶ代
平谷村	豊田	好文	松本市	原田	京子	大町市	駒澤	安正	長野市	中嶋	英見
平谷村	上田	洋子	松本市	宮下	信一	飯山市	吉田	正紀	長野市	倉島	智恵美
大鹿村	田島	龍二	上田市	上島	美起子	千曲市	東條	二郎	長野市	宮原	香代子
木曾町	長谷川	和一	上田市	神尾	みち子	佐久市	若林	雅一郎	長野市	安藤	勝之
木曾町	田中	ゆき江	上田市	竹内	聖浄	佐久市	土屋	珠江	長野市	宮崎	公子
上松町	田上	弘司	上田市	増田	宗彦	佐久市	小林	康行	長野市	中村	幸次
南木曾町	村瀬	泰信	岡谷市	吉原	君子	安曇野市	山田	守二	長野市	関	晃次
王滝村	畑中	実祐	岡谷市	高野	昭子	安曇野市	笠原	健市			
小谷村	下原	徳明	飯田市	清水	正則	長野市	松井	貴美子			
松本市	横山	百合子	須坂市	永田	繁江	長野市	中澤	玲子			

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

平成26年10月23日(木) 全国民生委員児童委員大会において表彰

○優良民生委員児童委員協議会表彰

・御代田町民生児童委員協議会 ・塩尻市吉田地区民生児童委員協議会

全国社会福祉協議会会長表彰

平成26年11月21日(金) 全国社会福祉大会において表彰

○民生委員・児童委員功勞表彰

諏訪市	小平	武	高山村	佐藤	和男	小諸市	依田	きくよ	千曲市	春日	和子
軽井沢町	土屋	信子	信濃町	和田	正	茅野市	金田	照俊	安曇野市	竹内	悦子
大鹿村	松尾	久子									

お知らせ

長野県神城断層地震被災地民児協活動への支援金！

去る11月22日の地震により被災した白馬村、小谷村、小川村での民生児童委員の活動に対し、全国民児連及び長野県民児連から活動支援金が贈られました。



白馬村



小谷村

県下では284の単位民児協があります。それぞれの地域にあった特徴を生かした内容で活動されています。この「つなぐ」の編集には委員4名で行っていますが、県下全域をカバーするには至っておりません。各単位民児協として民生児童委員の皆さんから各地域の情報や特集して欲しい内容、取材して欲しいことなどご意見をぜひお寄せいただければ今後の編集に生かしたいと思います。

(依田 宗夫)

昨年は大雪に始まり、水害・雹害噴火・地震など多くの自然災害に見舞われた年でした。新しい年を迎え、今年は無事に過ぎて欲しいと願っています。

民生児童委員が改選されて早くも一年が経過しました。新任委員の皆さんにとっては活動内容や役割など多くのことを経験し、あつと言つ間に過ぎてしまったことでしょうか。今月の特集はそんな方々の経験談や思いを座談会で語っていただきました。つなぐことの大切さや、高齢者をはじめとする地域の方のかかわりをこれから一層深め、多様化している活動内容の糧になものと思います。座談会に参加していただいた皆さん大変ありがとうございました。



編集委員 / 熊井 文弘・草深 邦子・古川 友枝・依田 宗夫